

平成 21 年度  
議会改革検討委員会報告書

平成 22 年 4 月  
議会改革検討委員会

平成22年4月30日

江南市議会議長  
木本恵造様

議会改革検討委員会  
委員長 東 義 喜

平成21年度議会改革検討委員会検討結果の報告について

本委員会は、平成17年11月18日の設置以降、議会の機能強化、運営の改善、その他議会の改革に必要な事案を検討してきました。

平成21年度は、「議会改革検討委員会申し合わせ事項の追加・変更」、「パソコン・プロジェクターの活用」、「議員定数の検証」、「議長車の取り扱い」、「反問権の付与」、「議場の整備・改善」、「『施策評価』の取り扱い」、「議長交際費」、「専決処分」、「傍聴規則」などについて検討しましたので、その結果を別紙のとおり報告します。

## 1. 経過

平成 21 年 5 月 14 日改選後の議会改革検討委員に岩田一洋委員、牧野圭佑委員、中西保夫委員、高田良弘委員、福田三千男委員、伊神克寿委員、野下達哉委員、東義喜委員の 8 人が選出され、平成 21 年 7 月 15 日、委員長に引き続き東義喜委員、欠員となった副委員長に福田三千男委員を選出した。

以降、7 回にわたり委員会を開催した。

## 2. 議会改革検討事項

前委員会から、引き続き、議会の機能強化、議会運営の改善、その他議会の改革について、各会派から提案された事項を検討事項とされた。

### (1) 自立した議会にするための議会改革

政策立案機能の充実、常任委員会の活動強化、会議等運営の見直し、議員研修の充実について検討する。

### (2) 議会の透明化・IT 化

会議の公開、議会報の発行、ホームページの充実、電子媒体による会議録の検索システムの研究、市議会政治倫理要綱の制定、議場・傍聴席の改善、議長交際費の透明化、パソコン活用による議会について検討する。

### (3) 市民に身近な議会にするための議会改革

請願・陳情・要望事項の公開、地域に出向いた議会活動、市議会モニター制度の導入、傍聴規則の見直し、議長・副議長の業務見直し、議員活動の検証、弔慰規定の見直しについて検討する。

### (4) 議会費のあり方

政務調査費の検証、報酬・旅費・費用弁償の検証、IT 化予算の確保について検討する。

### (5) 議会事務局体制の充実

事務局職員の資質の向上、常任委員会視察への職員随行の見直しについて検討する。

### 3. 委員会開催状況と協議内容

回	期 日	協 議 内 容
1	平成 21 年 7 月 15 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副委員長の互選について</li> <li>・議会改革検討委員会申し合わせ事項について</li> <li>・これまでの議会改革の取り組みについて</li> <li>・今後の協議事項について</li> </ul>
2	平成 21 年 9 月 25 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・傍聴席の改善について</li> <li>・パソコンの活用による議会について</li> <li>・議長車の取り扱いについて</li> <li>・議員定数の検証について</li> <li>・反問権の付与について</li> <li>・施策評価について</li> </ul>
3	平成 21 年 11 月 9 日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各派代表者会議への報告事項について</li> <li>・パソコン活用による議会について</li> <li>・議員定数の検証について</li> <li>・施策評価の取り扱いについて</li> <li>・反問権の付与について</li> </ul>
4	平成 21 年 12 月 16 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策評価の取り扱いについて</li> <li>・議会の招集権について</li> <li>・パソコン活用による議会について</li> </ul>
5	平成 22 年 2 月 5 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議場の演壇について</li> <li>・議長交際費の執行状況のホームページへの掲載について</li> <li>・専決処分について</li> </ul>
6	平成 22 年 3 月 23 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各派代表者会議への報告事項について</li> <li>・議場の演壇について</li> <li>・傍聴規則の見直しについて</li> <li>・議長交際費の支出基準について</li> <li>・今後の協議事項について</li> </ul>
7	平成 22 年 4 月 21 日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議長交際費の支出基準について</li> <li>・傍聴規則の見直しについて</li> <li>・定例会・臨時会の呼称について</li> </ul>

#### 4. 協議の結果

##### (1) 議会改革検討委員会申し合わせ事項の追加・変更

議会改革検討委員会申し合わせ事項に委員の構成、選出の規定が追加され、正副議長の出席の取り扱いが変更された。

(追加) 「委員会の委員は、8人とし、その選出については、議会運営委員会の例により、各会派において指名し、選出するものとする。」

(変更) 「検討委員会へ正副議長はオブザーバーとして出席することができる。」(「出席する」から「出席することができる」に。)

##### (2) パソコン・プロジェクターの活用

議場で質問や質疑の際、使用される写真や図表をよりわかりやすくするために、プロジェクターとスクリーンの活用が検討された。

本会議でスクリーンを利用して進める手法については、プロジェクター及びスクリーンの設置箇所、パソコンの操作者、目的、必要性、本会議の例えば、議案上程、委員長報告、一般質問時など、活用する場面などについて協議がされた。

議場でプロジェクター等を使用する場合に、どのようなイメージになるのか検証してはどうかとの意見や議場へは設置すべきではないとの意見が出され、この問題は、引き続き検討することとされた。

##### (3) 議員定数の検証

議員定数について、議員の活動上、本来どういう数が必要なのかということも含めて、現状で議会の仕事、役割、市民との関係など様々な角度から検証を進めなければならないとのことから検討がされた。

平成20年12月31日現在の全国と愛知県における議員定数の現状、法定上限数に対する削減数の状況を資料や、全国市議会議長会の「市議会議員定数に関する調査結果」をもとに江南市の人口に近い、人口9万人台、10万人台、11万人台の市議会における議員定数の資料が事務局より提出され、協議がされたが、議員定数の検証については、当面は検討しないこととされた。

##### (4) 議長車の取り扱い

議長車の利用状況等について報告がされたのち、協議がされ、今年度、車検を受けて継続していけばよいとの意見が出された。

また、現在、議長車の運転については、原則的には、市長車の空き日は総務課運転手が、バスの空き日は委託の運転手が、それ以外は議会事務局と行事を担当する部局で協議の上、随員職員が運転するとなっている。こ

の原則でも確保できない場合、本人の希望があればタクシー利用も認めるという従来からの取り扱いが確認された。

#### (5) 反問権の付与

反問権の付与について、議会基本条例等で反問権を付与している市議会を資料とし、協議がされた。

反問権の付与については、自治基本条例の中で議会の項目に規定されている場合もある。反問権だけにしぼった議論はあまり成り立たないということから、継続議題とはせず、要望があればまた議題としていくこととされた。

#### (6) 議場の整備・改善

##### ・傍聴席のスピーカー音量

議場のやりとりが聞きづらいとの指摘があり、その後、議場と傍聴席のスピーカーの音量レベルの調整を行い、改善措置がされた。

##### ・演壇のマイク

演壇のマイクの性能を上げてほしいとの意見があり、マイクには性能の違いがあるので、指向性の測定が必要であるなどの意見が出され、演壇マイクの改修の見積もり等を資料とし、協議がされた。その結果、当面は現状のままとされた。

##### ・演壇の書見台

演壇上の書見台の傾斜が低いので、改善できないかとの意見があり、市販品等の形状等を資料とし、協議がされた。(協議継続中)

#### (7) 「施策評価」の取り扱い

施策評価について、議員から見た施策評価を取り入れ、事業の存続・廃止等の見直しに対して、議会、議員として関与する必要性があるのではないかとのことから検討がされた。

・限られた短い時間内で協議が終わっているので、来年度は、施策評価を議題とする委員協議会を、各常任委員会で日程を調整し、9月定例会閉会后、9月中に1日もしくは2日間程度開催することとされた。  
(各派代表者会議で了承、平成22年度から実施)

・当該委員協議会の9月定例会会期中での開催について、あらためて検討することとされた。(協議継続中)

(8) 議長交際費

議長から、諮問されたことから、議長交際費のホームページへの掲載について検討がされた。

江南市議会の議長交際費の執行状況を資料とし、協議がされた。ホームページへの掲載は合意されたものの、その前に支出基準等の見直しが必要なことから、支出基準、支出区分、ホームページへの掲載方法などについて協議された。(協議継続中)

(9) 専決処分

議長から、諮問されたことから、専決処分について検討がされた。

県内各市の状況等を資料とし協議がされ、本当に例外中の例外として、わざわざ議会を開く必要もないようなときの事案については、専決処分ということ認めていく。また、特殊な事例を想定した場合の専決処分の委任を議員提案でやるという方向が確認された。専決処分の対象や金額の上限については、各派代表者会議で検討される事項とされた。

(10) 傍聴規則

昭和30年の制定後、大きな見直しがされていない「江南市議会傍聴規則」の改正について検討がされた。

全国市議会議長会の標準傍聴規則を始め、近隣市議会の傍聴規則を参考に全部改正の方向で協議がされた。(協議継続中)

## 議会改革検討委員会委員名簿

区 分	氏 名
委 員 長	東 義 喜
副 委 員 長	福 田 三 千 男
	岩 田 一 洋
	牧 野 圭 佑
	中 西 保 夫
	高 田 良 弘
	伊 神 克 寿
	野 下 達 哉
計	8人

任期 平成19年5月17日から平成23年4月30日

### オブザーバー

区 分	氏 名
議 長	木 本 恵 造
副 議 長	古 田 富 士 夫

## 広報編集委員会委員

平成21年5月12現在

会 派 名	委 員 名	備 考
江政クラブ	今 井 敦 六	
政新クラブ	伊 神 克 寿	
公明党市議団	野 下 達 哉	委員長
日本共産党江南市議員団	東 義 喜	副委員長
無会派	山 登志浩	

委員は、各会派・無会派から代表者1名を選出